

平成25年度 事業報告

平成25年度の我が国の経済は、安倍政権の下、不況からの脱出に向けての「大胆な金融政策、機動的な財政政策及び民間投資を喚起する成長戦略で、雇用や所得の拡大を目指す」政策を引き続き実施して参りました。

しかしながら、地方までその恩恵が届かない状況であります。

そうした中であって平成25年度下呂温泉宿泊客は1,017,908人、前年度対比100.3%となり100万人を上回ることができました。これも偏に関係各位のご尽力のおかげであると感謝いたします。

主な事業内容としては、宿泊客の増加を目指し即効的な誘客対策を講じると共に、将来に向けての人材育成や魅力ある観光地づくりを進めて参りました。

地域での観光コーディネーターの役割が重要であることに鑑み、岐阜の宝ものや魅力を生かした商品づくりを行った他、様々な手段やパブリシティでの情報発信など誘致宣伝事業を進めました。又、「MICE」によるコンベンションをいろいろなチャンネルで誘致するように努めて参りました。

各委員会活動としては誘致宣伝委員会が、県及び観光連盟が主管するキャンペーンに、下呂市観光協会連絡協議会、下呂温泉旅館協同組合、下呂市と共に、すべてに参画したことや、西日本方面の広島、岡山、大阪、関東方面の東京、栃木、埼玉、静岡などにも出向きキャラバンを行ない誘客に努めて参りました。参加して頂いた皆様方には重ねて感謝申し上げます。

おもてなし委員会では恒例の「いでゆ夜市」、「花火ミュージカル冬公演」、「下呂温泉花火物語」などを市や関係団体との共誘して進めると共に、最近特に増えてきた若者の街歩きなどのニーズへの対応をして参りました。

まちづくり委員会では植樹・清掃活動などの環境整備事業や、近隣観光地との連携を深め連泊できる魅力ある観光地づくりを目指して参りました。又おもてなしの向上として貸し傘事業を展開して参りました。

交流研修委員会では、研修事業としての「観光セミナー」の実施、草津温泉を視察研修致しました。

下呂市に何が必要であるか、今後色々視察研修を重ねながら、他団体とも協力し街づくり研修を進めて参りたいと考えます。

インバウンド対策では、下呂温泉はまだまだ少ない外国人誘客のために招致事業や観光展への参加など積極的に進め、誘客を計って参りました。

その他、飛騨、岐阜、郡上、中津川の各地域など広域的な連携を深め、今後の観光の在り方など、共通の課題として捉え取り組んで参りました。

課題としては、JR大阪駅からのひだ号増発、高山本線富山行き特急の運行本数増加など、重要な課題の解決がなされないままとなっており、早期に解決できるよう力を注がなければならぬと考えております。

以上、各種事業に対しまして、ご協力いただきました皆様に感謝申しあげまして報告とさせていただきます。